



豊玉二中だより

令和5年度 第5号
発行日 9月1日(金)
練馬区立豊玉第二中学校
校長 神山 信次郎

自分と他人の良いところを知ること

副校長 新井 智子

「自分の長所と短所は何だと思えますか？」と、質問すると生徒は長所と短所の意味を知らない場合があります。

長所は自分の良いところ。長く伸ばせるといい。

短所は自分の欠点。短くあって欲しいところ。

長所・短所は誰にでもあります。どんなに優秀な人でも短所はあるのです。では、自分の長所と短所は何でしょうか？生徒は「真面目・優しい・努力家・明るい」など長所を発言します。短所は「めんどくさがり屋、短気、忘れっぽい、身の回りの整理整頓が苦手」が多いです。

さて、その長所と短所は実際に当てはまっているのでしょうか？

他校で道徳の授業でクラス全員の長所と短所をカードに書いて伝え合う授業がありました。自分は他人にどう思われていたのかを知る機会となります。自分の予想外のことが書いてある生徒は驚いていたり、照れていた様子で楽しそうに自分を再発見していました。そして、長所は自信をもっと伸ばしていき自己肯定感を高めて、短所は改善するために努力をしようと考え、自分を振り返ります。

また、それだけでなく大切なことは「誰にでも長所がある。」ということに気付くことです。自分と合わないタイプだと考えて、関わりを避けている人にも、必ず自分にはない長所があります。思春期は自己と他者を比較して短所ばかりを気にしがちです。しかし、誰にでも必ずある長所を見るように心掛けていくことで、友達との関わり方も変容していきます。友達が自分にはない長所を持っていることに気付く、その人を信じることは自分一人ではなし得ない可能性も広がります。このように考えることで必然的に友達も増えていくでしょう。

「その人にしかない長所。」教師はそのことに気付く長所を伸ばす教育活動をするのは勿論ですが、生徒自身も他人の長所を見つめて、全ての人を大切に思う心を育てていくことが重要だと考えます。

